

ローカルジャーナリスト養成講座

ヒトカラニュース

VOL.4



書いたらゴールではなく、スタート

「地域のオモシロイ」
を
みんなで発信！



伝わる記事にするために

記事を書く上で、読者（伝えたい相手）を思い浮かべることが大切である。

「伝えたい相手がどんな人」で、その「相手にどうなってほしい」かこれらを考えることで、伝えたいことと相手が明確になり、より「伝わる」記事となる。

自ら発信する

苦労してようやく書けた記事。でも記事を読者に届けるためには「発信」しなければならない。一言に「発信」といっても紙・WEB・SNSなど数多くの媒体が存在する現代。それぞれの特徴を捉え、届けたい相手に合わせて発信方法を変えてあげる必要がある。

書いたらゴールではなく、スタート

これまで、取材から書くことまでを学んできた。「自分ごと」であり「地域ごと」でもあるニュースを、「ビジョン」（自分がどうありたいかやどんな地域にしたいか）を思い描きながら記事にしてきた。どんなにいい記事を書いても、読者に届かなければ存在しないのと同じ。記事を読者に届けなければ、思い描く「ビジョン」へ繋がらない。

つまり記事を書くことは、「ビジョン」へ繋がるスタートとなる。

参加者の声

他人に読んでもらい、感想やアドバイスをもらうと、より深まった。

自分の記事をいろんな視点から見る事ができた。非常に楽しかった。

